WAVE
大阪成蹊学園報
（禁転載）
第21号
２０１２年６月２９日発行
発行　学校法人 大阪成蹊学園
法人事務局事務部
〒533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10番62号
TEL. 06-6829-2500
http://www.osaka-seikei.ac.jp/

進化する大阪成蹊学園

好調な学生・生徒募集　教育内容も充実

大阪成蹊学園は、平成22年４月に石井理事長が就任し、２年間にわたり学園発展のために必要な諸々の改革を行ってきました。将来の発展に向けての学園風土の改革、ガバナンスの改革、財務の改革、教育の充実、入試広報戦略の改革、学生指導・支援の強化、学園リスク管理の強化などの施策を実施してきました。

具体的には、びわこ成蹊スポーツ大学大学院の創設、大阪成蹊大学マネジメント学部にスポーツビジネスコース及び食ビジネスコース、芸術学部にアニメーション・キャラクターデザインコースを新設、「スポーツ＆カルチャーセンター」の設置によるスポーツと文化教育の取り組み強化、大阪成蹊短期大学の幼児教育学専攻の定員を150名から200名に、更に平成25年度からは240名への拡大、栄養士資格取得枠を80名から120名に増員、芸術学部の移転に伴う美術アトリエ棟の新築、食堂・学生ホールの改修・充実等の学習環境の整備、学生の社会人としての基礎力向上のためのあいさつ、身だしなみ、禁煙等のマナー向上運動の徹底、「大阪成蹊アート＆デザインコンペティション」の開催、就職活動支援の強化、スクールバスの運行開始による通学利便性の向上などに取り組んできました。

このような教育の充実と募集広報活動の強化などを行った結果、平成24年度の入学者は、大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学、大阪成蹊女子高校は昨年比大幅に増加、びわこ成蹊スポーツ大学も定員を超える300人台の高水準を維持し、学園全体では昨年の1,572人から1,852人、＋280人となりました。入学者が飛躍的に増加し、学園全体が明るく活気に満ちています。

本学園の各学校が学生、生徒、保護者の皆さま方、高校・中学校の先生方から、このように大きなご支援をいただき感謝するとともに、教育内容を一層充実し、ご期待にお応えすべく、さらに改革を進めてまいります。

また、本学園が教育目標として掲げている、①自分で課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断・行動し、より良く問題を解決する能力②自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性③たくましく生きるための健康や体力――これら三つの「生きる力」、言いかえれば本物の「人間力」を持った人材を養成することが、われわれ教職員の責任であり、今まさに学園をあげてその取り組みを進めているところです。

（単位：人）		H23 年度	H24 年度	増減
大阪成蹊大学 / マネジメント学部	入学者	107	178	+71
大阪成蹊大学 / 芸術学部	入学者	90	149	+59
びわこ成蹊スポーツ大学（含・大学院）	入学者	330	321	-9
大阪成蹊短期大学	入学者	602	691	+89
大阪成蹊女子高等学校	入学者	443	513	+70
合計	入学者	1,572	1,852	+280

南館

東館

美術アトリエ棟

相川キャンパスで心機一転
芸術学部移転完了

大阪成蹊大学芸術学部は、平成24年３月末に京都府長岡京市より相川キャンパスへ移転を完了しました。新年度の４月からは相川キャンパスで、心機一転新たに学部教育をスタートいたしました。南館、東館、第一体育館、そして新築した美術アトリエ棟と学部専用の校舎で学生たちの勉学と制作の日々が始まったところです。

南館で展覧会も

南館は主に情報デザイン学科が使用しますが、１階には学内のみならず、地域社会との接点となるギャラリーが開設されています。最近では「イラストレーター佐藤邦雄展　動物美術館」＝５月27日（日）～６月８日（金）＝と題した展覧会が開催され、ユーモアとペーソスにあふれる動物たちの姿に見る人たちを童心へと誘い、連日多くの来場者を迎えました。また、この南館にはコンピューターや映像の機器を備えた専用教室や、写真の撮影スタジオや暗室などがそろい、情報デザインの専門的な施設となっています。

東館、美術アトリエ棟も

東館は、地階と１階の二つのスペースを「造形ファクトリー」と呼ぶ木材加工、金属加工、染織工芸など「ものづくり」のための他に類を見ない専門的な機材の揃った施設として使い、さらに上階にはファッションデザインやインテリアデザインの工房があります。川向こうの美術アトリエ棟は、日本画、洋画、立体造形をはじめとした美術のさまざまなジャンルの工房が並び、基礎造形のデッサン室や窯工芸のための窯場も備えています。

芸術学部ではこれらの施設を十分に生かした、専門的で創造性豊かな教育を展開して、大阪成蹊大学の文化の発信源になりたいと願っています。また学園内のびわこ成蹊スポーツ大学やマネジメント学部、さらに短期大学、女子高校、短大附属こみち幼稚園との深い絆をいっそう強化してその連携に取り組むとともに、相川での地域連携の輪を広げていきたいと願っています。

びわこ成蹊スポーツ大　創立10周年に向けて充実するスポーツ施設

テニスの森・野性の森　今夏完成

開学当初からの夢だった硬式野球部の専用グラウンドが昨秋に完成したのに続き、ハードコートの「テニスの森」、野外スポーツコースの専用施設として「野性の森」が今夏までに相次いで完成します。これで本学のスポーツ施設は、陸上競技場、人工芝のサッカー場、アクアセンターやマルチアリーナなどの施設が広がる「びわこエリア」と比良川を挟んだ「比良エリア」に大きく広がり、湖西のスポーツゾーンとしてますますの脚光を浴びることが期待されます。

ベースボールフィールドと名付けられた硬式野球場と隣接してできあがる「テニスの森」はナイター照明付きで６面のコートがあり、国際級の試合もできる豪華版。さらにコートから下方に自然の景観を残した「野性の森」が広がります。フレッシュマンキャンプでおなじみのＡＳＥ活動をはじめ、テント宿泊も可能なコンパクトな自然公園になります。

野球場とテニスコートの間に人工芝を敷いた「つどいの広場」ができ、10周年を記念したモニュメントが置かれます。９月22日に10周年の記念行事が行われ、式典のあとモニュメントの除幕式とテニスの森、野性の森がお披露目されます。

Topics

大阪成蹊短期大学

幼児教育学専攻は、今年３月、昨年と同様に就職率100％で卒業生を幼稚園・保育園の現場へ送り出しました。そして今春、新入生に定員増をした203名を迎えました。2013年度にはさらに定員を増やし、240名を受け入れる予定です。３月から始めたオープンキャンパスでは、模擬授業をする音楽室、保育実習室が満員の高校生でにぎわっています。２回生の手遊び、読み聞かせに、「プロの先生みたいや」「こんなかわいいおもちゃ作れるようになるんや」。研究レポートの展示を見て、「いやー、こんなの考えるの大変やけど、楽しそうやね」と、甲高い声が上がります。

「実学の成蹊児童教育」「就職に強い幼教」という評価をいただいています。「幼児教育者になって社会に貢献できる人になりたい」と固く心に決めて、本学を選んで入学してくる多くの人の夢を実現するために、私たち教職員は、一丸となってきめ細かい支援をし、一人ひとりの学生さんの声を聴く努力を惜しみません。豊かな表現力と成長の種を持った幼児のこころ

幼児教育　定員増

とからだの成長を助けるスペシャリストになり、時代が求める幼稚園教諭・保育士への学びを、最新の情報と最高の技術で実践します。

本年、新たな取り組みとして、よりきめ細やかなピアノの指導体制を実現し、初心者から経験者まで本学のピアノ習得スケールに沿って、ピアノ110台を置く個室で、ピアノ指導教員のほかにティーチング・アシスタントのサポートにより、学生たちは練習しています。また、本学のレベルの高い授業に加えて、手厚く指導体制をとっているのが「実習事前事後指導」です。幼稚園、保育所、障害児施設、児童養護施設の現場経験者で研究実績をもつ教員を含む全員がそろって、毎週月曜日に授業をします。200人が集合しての大教室での静かな授業に、私はいつもワクワクして話を進めます。その中に、次の世代に園長を継ぐ人、また、20年前、30年前の本学の卒業生で、現役の保育士を親に持つ学生もいます。多くの卒業生の母校として建学の精神を受けつぎ、伝統を守り、現場・社会の時代の要請に応えるために、学生さんともども、楽しい幼教プログラムを展開し、次のステージを目指します。

大阪成蹊短期大学　児童教育学科
学科長　薮田　一子

第１回 成蹊ファッションショー開催！ 生活デザインコース

平成24年２月12日（日）にＴ・Ｂホール（大阪市中央区東心斎橋）にて第１回成蹊ファッションショーが開催されました。このファッションショーは、生活デザインコース・アパレルデザインクラスの「創作研究」という授業の一環で行われ、ファッションコーディネートクラス所属の有志学生も制作可能という形式で行われました。今回のショーでは、各学生それぞれが自身のテーマを決め、そのテーマに沿った衣装を作成し、さらにショーの演出となる音楽や映像の原案も自身で考えるという課題が課せられました。音楽や映像に関しては、大阪成蹊大学芸術学部のバックアップもいただきました。

制作開始当初は、なかなかテーマが決まらず苦労していました。皆で相談しながらアイデアを出し合い、時にはくじけそうになりながら励ましあい頑張っていました。本番が近づくにつれ、焦りも出てきましたが、皆がまとまり一つの目標に向かって一致団結して取り組んでいることが周囲からもよく分かりました。制作は連日連夜にわたり、夜遅くまで多くの学生が残って作業をしていました。また、学生本人だけでなく、制作をサポートする教員ももちろん常に付き添い、非常勤講師の先生や関連スタッフをも動員してオール生活デザイン体制で準備を進めていきました。

当日は、午前中に生活デザインコース新入学予定の生徒のみを対象とした、本番さながらのリハーサルを行いました。半ば身内を対象としたショーですが、本番の緊張感をいい意味で体験し、午後の本番に備えました。本番では、理事長、学長をはじめ、多くの来場者の方にお出でいただきました。ショーは二部構成で仕上げ、途中小休憩をはさみ、全員がそれぞれのテーマを存分に発揮しました。ショー全体としての一つの統一テーマを設定しなかったことから、発表学生ごとに見た目の変化もあり、かつ全体としてのまとまりもよく、若い方から年配の方まで共感を持てる内容が盛り込まれており、終始楽しむことができました。最後には、理事長賞（上垣早紀、テーマ：カラフル）、学長賞（北野優樹、テーマ：Joker）、生活デザイン賞（井上名央、テーマ：La　deesee）が発表され、舞台上で表彰式も行われました。

全員が一丸となって素晴らしいショーを完成させ、終了後には学生同士が抱き合い、泣いてショーの完成を喜んでいたことがとても印象的です。２年間という短い期間ではありましたが、皆で協力しあって素晴らしい結果を残した学生たちは、生活デザインコースの誇りと言えます。

ファッションショーの後、表彰も行われた

卒業作品展開催

○食物コース○

去る１月27日の授業最終日に本学において総合生活学科食物コースの「調理クラス」と「フードコーディネートクラス」、そして「栄養コース」において、学びの専門性を活かしたコンセプトで卒業作品展を実施しました。調理クラスでは学生自身が設定したテーマに沿って個性的な料理作品を仕上げ、フードコーディネートクラスでは「ＦＣケンミンＳＨＯＷ」をテーマに各都道府県の特徴をテーブルコーディネートとして表現し、栄養コースでは「ライフステージ別の食事展示と栄養教育」をコンセプトに、展示とＤＶＤ放映を行いました。

それぞれのコース・クラスの学びの特徴や学生の個性が作品に表れ、学生生活の締めくくりにふさわしい卒業作品展になりました。

また年間を通じたそのほかの取り組みとして食物コースではどんぶりやキャラクター弁当のコンテストの実施や、保護者を招待してホテルの宴会場でサービスの体験実習を行っています。また、栄養コースでは今年度より「お弁当を作る日」を設け、学生全員が自宅でお弁当を作成して持参し、食育の意義を改めて考える機会にしています。今後も特長ある取り組みを通じて、学生の能力と個性が伸ばせるよう努めていければと思います。

調理クラス

フードコーディネートクラス

○栄養コース○

栄養コース

Topics

スポーツ＆カルチャーセンター
照準は世界へ

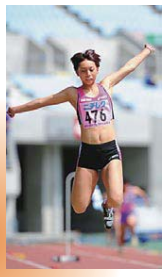
いよいよ本格的に始動したスポーツ＆カルチャーセンター。大学トップクラスの実績を誇るフットサル部をはじめ、新生・陸上競技部ほか各ステージで素晴らしい戦績を打ち出しています。

躍動、そして大きく羽ばたく成蹊生たちの活躍の軌跡

木村、上田が日本選手権出場！　陸上競技部

全国からトップクラスの精鋭たちが集まり、スタートした陸上競技部。春シーズンから早くもその力を発揮し、各大会で旋風を巻き起こしています。

なかでも、木村茜（大阪成蹊大１年）、上田繭（同）は日本トップクラスの大会を転戦。６月には陸上界最高峰、ロンドン五輪最終選考会の舞台日本選手権に堂々出場を果たしました。木村は100m、200mに出場。100mでは惜しくも決勝進出を逃したものの、200mでは見事ファイナリスト入り。７月に開催される世界ジュニアなど、世界での活躍が期待されています。上田は関西ＩＣも制し、勢いに乗っての参戦。惜しくも決勝進出はならなかったものの、日本のトップクラスと互角に渡り合った前半のレースぶりからさらなる飛躍を確信しました。


金沢理恵＝関西ＩＣ７種競技で（月刊陸上競技提供）

福本律花＝関西ＩＣやり投げ競技で（月刊陸上競技提供）

上田繭（左から３人目）＝日本選手権100㍍ハードル予選で（月刊陸上競技提供）

上田繭（右）＝関西ＩＣ100㍍ハードル決勝で（月刊陸上競技提供）

木村茜＝関西ＩＣ100㍍決勝で（月刊陸上競技提供）

＜主な戦績＞
★木村　茜　日本選手権200ｍ８位
関西ＩＣ100ｍ・200ｍ 1位
★上田　繭　日本選手権100ｍH出場
関西ＩＣ100ｍH 1位
★金沢理恵　日本ジュニア陸上競技選手権（混成）７種競技３位
関西ＩＣ　７種競技４位
★福本律花　関西ＩＣ　やり投げ６位
★４×100ｍ　関西ＩＣ　大阪成蹊大（手塚・木村・上田・酒井）５位
★４×400ｍ　関西ＩＣ　大阪成蹊大（木村・酒井・上田・手塚）７位

３年ぶりの全日本出場へシーズンイン！　フットサル部

2007年の強化指定クラブから、着実に力をつけてきたフットサル部。2009年には念願の全日本大学フットサル大会に出場を果たしました。激選の関西・大阪地区にあり、その存在感は毎年高まっています。

特に本年度は優秀な１年生が多く入部し、選手層が厚くなったこと、組織・戦術のレベルが格段に向上してきたこともあり、悲願の全国出場、さらに優勝も視野に入れ練習には余念がありません。

本年度の初戦となった大阪府大学フットサルリーグ戦第１節も思い描いた通りの戦いで圧勝。最高のスタートを切ることができました。まだ成し遂げていない４冠という偉業に向けて、躍動を続けています。

＜主な戦績＞
★2009：第５回全日本大学フットサル大会出場
★2011：大阪府大学フットサルリーグ優勝
関西学生フットサルリーグ　３位
第７回全日本大学フットサル大会
大阪大会ベスト４

＜キャプテン　山口　雄大（４年）　チームの状態・本年度の抱負＞

今年は１年生が９人入部し、部員数も17人に増え、普段の練習も昨年以上に活気にあふれています。

今年の目標は３年ぶりの全国大会出場。４年生にとっては、ラストチャンス。僕らが１年生の時に味わった感動を、新入生を含めみんなで味わいたいと思っています。ライバルは昨年、全国を制している関西大学フットサル部。今年は、相手を組織で崩して勝つチームサッカーで全国制覇を目指します。

＜柴沼真監督＞

今年は全国高校サッカーを経験している選手など、名門校から数多くの新入生を迎えることができ、先輩を含め、チームの潜在能力は確実にアップしていると思います。チーム内の競争意識、雰囲気も高まりをみせています。今年の目標は大阪予選を突破して全国へ駒を進めること。昨年、全国を制した関西大学サッカー部も、その優勝コメントで、「地区予選の大阪成蹊大学戦が一番苦しかった」と語ってました。今年はその関西大学の壁をぜひ突破したいですね。その実力は備えていると確信しています。

稲熊、世界選手権へ！　バトントワリング部

バトントワリングの演技を披露する稲熊小夏

日本バトン界の至宝水野啓子を監督、世界を舞台に活躍する河津修一をコーチに迎え、関西・全国そして世界を目指して取り組むなか、稲熊小夏（大阪成蹊女子高校１年）が激戦のフリースタイル個人・女子ジュニア部門で見事選考を突破し、今夏の世界バトントワリング選手権（８月２～５日、フランス・パリ郊外開催）出場切符を手にしました。稲熊が出場権を勝ち取ったフリースタイル個人・女子ジュニア部門の国内選考は関西を中心にまさに群雄割拠。また自身にとっても、ジュニア部門でのエントリーが最後となる今回の挑戦で代表を勝ち取り、初めての出場となりました。

世界での舞台は初めてということですが、持ち前の明るさと元気溢れる演技で日本のパワーを見せつけ、大いなる活躍が期待されます。

＜主な戦績＞
★2008：全日本バトントワリング選手権大会　ソロトワール
小学校高学年部門　１位
★2011：全日本バトントワリング選手権大会　ソロトワール
中学校部門　１位

＜コメント＞

今回世界選手権への出場が決まって、まずは素直に嬉しかったです。今は選ばれなかった選手の分も精一杯演技できるよう練習に励んでいます。大会ではミュージカル「アニー」のテーマ曲で演技します。

昨年の東日本大震災の傷跡はまだまだ至るところに残っています。そんな皆さんに何事にも前向きで、夢と希望を忘れないアニーの姿を演じきって、元気と勇気を届けることができたらと思います。

＜プロフィール＞

小学校１年からバトンをはじめ、小学３年時に関西選手権に出場するなど活動を本格化。小学校６年からは全日本大会にも出場を果たし、ソロトワール・小学校高学年部門で１位に輝いています。その後、スクールでの活動を続け、中学３年時に全日本バトントワリング選手権ソロトワール・中学校部門で優勝。今春、大阪成蹊女子高校に入学。第31回世界バトントワリング選手権大会への出場権を獲得。

スポーツ＆カルチャーセンターとは・・・

大阪成蹊学園が、大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学、大阪成蹊女子高等学校のクラブ活動を積極的に支援する学園の包括的な組織として開設。世界で活躍するアスリートやアーティストの育成、将来的にはスポーツ振興や文化事業の開発による地域連携などを見据えた活動を展開します。

大阪成蹊学園スポーツ＆カルチャーセンター
Tel:06-6829-2669　Fax:06-6829-2629
URL:http://www/osaka-seikei.ac.jp/news/sportculture/

＜今後の活動予定＞

陸上競技部★７月６日～８日 西日本インカレ（西京極陸上競技場）

フットサル部★６月 30 日～７月１日
第８回全日本大学フットサル大会 大阪大会決勝（大阪成蹊大学第一体育館）

バトントワリング部★８月２日～５日
第 31 回世界バトントワリング選手権（フランス・パリ郊外）稲熊小夏

Topics

こみち幼稚園

育てたい子ども像

昨年度末、理事長とお話をする機会があり、「あいさつができる子どもになってほしいです」と言ったところ、「形だけではだめなんだよ。〝気持ち〟が入っていないと」とご指導いただきました。実際、廊下を歩いていて「せんせい、おはよう」と自分から声をかけてくれる子どもが一体何人いるでしょう？　中には、昼過ぎに「あっ、せんせい、おはよう！」と思い出したようにあいさつしてくれる子どももいます。そんな時は、「今は、〝こんにちは〟だね。こんにちは」と返すと、「あっ、そっか」と笑いながら「こんにちは」と返してくれます。ある種の業界では、一日中「おはようございます」とあいさつするそうです。それは、「ございます」が付くのは、「おはようございます」だけだから、一番ていねいなあいさつであるという理由でその風習を守っているという話でした。しかし、幼稚園では、素晴らしい日本語文化を後世の子どもたちにも引き継いでいく意味でも昼には「こんにちは」と言えるように指導していきたいと思っています。外国語では、訳しきれない日本語というものがたくさんあります。たとえば、食事をする時の「いただきます」です。この言葉は、「あなたの生命をいただきます」という意味が込められているのです。野菜も魚もお肉もかつては、生きていたものです。その生をいただき、自分は生かしてもらっている‥‥という深い意味があるのです。豊かな日本、いただいた命を粗末にすることのないように食事したいものです。

こみち幼稚園では、今年度、「音・図・体の強化」を掲げてスタートしました。それぞれ専門の先生が来られて指導してくださいます。保護者からは、「お勉強ばっかりになって子どもがしんどそう」などの声も聞かれました。「お勉強」という言葉に少し違和感があり、「勉強ではないですよ」と答えていましたが、よくよく考えてみると、「勉強」は「机に向かってするものだけではない」のです。ままごとで、お皿を配るときに「１、２、３‥‥」と数えたり、一つひとつの文字を拾い読みしながら、絵本をみんなに配ったり、文字や数の指導が子どもたちの生活の中の色々な場面でのてきます。また、友だちとのかかわりを通して、スムーズな人間関係の構築方法を学んでいきます。子どもたちの生活全てが学習なのです。「音・図・体」の指導は「技術の取得」だけをねらっているのではありません。集中力・判断力・自己解決能力・コミュニケーション力・表現力・創造力など、効果はすぐには見えないけれど、多くの力が育つことでしょう。よく、「小学校に行った時に困るから幼稚園から取り入れてほしい」という声も多く聞かれます。例えば、鍵盤ハーモニカで「ドレミ」を教える時、それぞれの音に「色」をつけると、子どもたちは、すぐに弾けるようになります。しかし、「色」がないと弾けない子どもになってしまい、ピアノなど指導している方の話によると、結局譜読みに時間を要することが多いそうです。入学当初は、授業も（先取りしていたため）よくわかり、成績優秀と評価されていても、徐々に進むにつれ、周囲の子どもと変わらなくなってしまうという話はよく聞きます。全ての子どもに当てはまるとは思いませんが、「幼児教育の場」での「教育」とは何なのか？を再度考えていかなければならないでしょう。それは、強い心に強い身体、豊かな心、優しい心など見えない部分ではあるけれど、人間として生きていくために必要な土台となる人間教育だと思います。我々教職員は、いつ開くのかわからない花の蕾（種）に一生懸命水をやり（やりすぎて腐らせてしまうことのないように）しっかりと世話をし、やがて小さくても一つひとつが素晴らしい花を咲かせるように、子どもたちを見守りたいと思っています。　**こみち幼稚園　教頭　井上扶美**

大阪成蹊大学　芸術学部

学生 教員 受賞ラッシュ

糸曽教授の受賞作品「コルボッコロ」

瀬戸口美紀さんの日本画

菱谷仁美さんの作品

加藤愛さんの作品

岡田裕美子さんの作品

芸術学部では昨年に引き続いて、学生や先生方の受賞ラッシュが続いています。

まず最初にあげられるのは、平成24年度より情報デザイン学科の特別招聘教授となられた糸曽賢志教授によるアニメーション監督作品『コルボッコロ』が、CREATIVE　MARKET　TOKYO　2011においてＣＭＴアワード大賞、国際賞というダブル受賞に輝いたことです。この環境問題をテーマに制作された作品は、昨年の３・11東日本大震災によって自然の脅威と大切さを子どもたちに教えることでさらに脚光を浴びました。

ついで学生たちの受賞としては、日本画の登竜門「日展」の春季展である「第47回日春展」に本学部美術学科３年生の瀬戸口美紀さんが入選しました。さらに環境デザイン学科のプロダクト・クラフトデザインコースの多くの学生たちの応募した「減災デザイン　プランニング・コンペティション2012」において、大賞をはじめとしたそのほとんどの賞を本学の学生が受賞することになりました。詳細については一覧表にまとめましたのでご覧ください。

＊学生

No.	所属コース	氏名	受賞内容	
1	日本画コース３年生	瀬戸口　美紀	2012年　第47回　日春展入選	
2	プロダクトクラフトデザインコース３年生	渡辺　宗生	減災デザインプランニングコンペ２０１２	最優秀賞
3		加藤　愛		優秀賞、及び良品計画賞
4		相川　和也		アドレンズジャパン賞
5		菱谷　仁美		ＮＰＯ法人ニッティー賞
6		森　絢弥		毎日株式会社賞
7		岡田　裕美子		一般投票賞
8		稲野　友紀		芸術工科学会会長賞

＊教員

糸曽教授の受賞：CREATIVE MARKET TOKYO 2011 CMTアワード大賞/国際賞

相川和也さんの作品

稲野友紀さんの作品

第２回 アート＆デザインコンペティション

今年も力作　待っています！

芸術学部主催による「アート＆デザインコンペティション」が今年も開催されます。昨年開催した第１回のコンペティションにおいては700点を上回る数多くの作品応募を頂き、まことにありがとうございました。紙面をお借りしてここに厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、グランプリを受賞した大阪府立成城高校の長渡千佳さんの、女性と植物の生命力を重ねてその力強さを表現した写真作品の圧倒的な腕前に、審査員の先生方も全員一致で投票しました。また、中学生の部では束縛からの解放をテーマにした色彩豊かなイラストレーションが選ばれました。

第２回となる今回は、テーマは昨年を踏襲して「未来への発信」で行いますが、昨年を上回る応募を期待していくつかの応募・受賞のそれぞれにおいて項目的な変更を加えました。まず、募集部門（作品のジャンル）ですが、高校生の部においては別項目であった映像・アニメーションを「ビジュアルデザイン」というひとつのジャンルにまとめました。

次に、作品募集期間ですが、８月以降としました。夏休みに頑張って作品作りに取り組んでいただけるように配慮した次第です。また、受賞項目にある、高校生の部のグランプリと審査員特別賞の、本学芸術学部入学特別待遇生制度について、その資格の有効期間を３年としました。以上何とぞ変更点をご理解のうえご応募ください。昨年以上の力作、優秀作の集まることを心より願っています。

Topics

相川キャンパス

日本人と交流　「豊かな経験を」　交換留学生歓迎会

教育研究支援センターの国際交流部門は、平成24年度前期に交換留学生として来日した４名の留学生の歓迎会を５月22日に開催しました。

参加交換留学生は、デンマークThe Royal Danish Academy of Fine Arts School of Designから芸術学部環境デザイン学科空間インテリアコースで学ぶ、Benjamin Monrad（ベンヤミン・モンヤード）さんとPernille Just（パニラ・ジュスト）さん、芸術学部環境デザイン学科テキスタイル・ファッションデザインコースで学ぶMika Ishii（ミカ・イシイ）さんと、韓国濟州觀光大學から短期大学観光学科で学ぶ姜文斌（カン・ムンビン）さんの計４名でした。加えて、前年度にデンマークの同大学に留学していた芸術学部４年生・古林咲さん、イギリスノリッジ大学に留学していた芸術学部４年生・大野由貴さんも参加しました。

歓迎会は松田教育研究支援センター長の開会のあいさつに始まり、続いて石井理事長から留学生に「思い出に残るような体験をしてください。若いうちの留学経験は見識が広まります。本学学生とコミュニケーションをとって、授業や観光だけではなく日本人と触れ合って帰ってほしいです」との歓迎のお言葉がありました。

交換留学生は自己紹介で、日本で芸術を学ぶことや日本語を身につけること、日本らしい生活を楽しみにしていることなど、一部覚えたての日本語を交えながら、希望と期待を語っていました。武蔵野短期大学学長からは「アジアの文化の影響を強く受けているのが日本であるから、日本の文化だけでなく、アジアの文化も身につけてほしい」とのお話がありました。そして、会場は英語、韓国語、日本語が飛び交う国際色の豊かな場となりました。歓迎会は１時間半程度でしたが、留学生たちが大学の生活に早くなじむためのきっかけにしてもらいたいと思います。

動物とふれ合う写生会　2146名が参加

本年６月３日（日）に相川キャンパスの中庭（サンパティオ）に移動動物園を招き、芸術学部主催による「動物とふれ合う写生会」を開催しました。当日は、短大附属こみち幼稚園の園児や地域の子どもたちなど、昨年を大幅に上回る2146名の方々にご参加いただきました。参加された方々は、ひよこやヤギなど約40種類の動物とのふれ合いやポニーの乗馬を楽しんだり、クレヨンなどを使って動物の写生に取り組んだりと思い思いに楽しい一日を過ごされました。芸術学部の教員や学生による作品講評コーナーでは、子どもたちが描いた絵を教員や学生が丁寧にアドバイスし、子どもたちや保護者の方から大変喜ばれました。

また、短大附属こみち幼稚園のコーナーも設けられ、「アートバルーン・動物をつくろう！」のワークショップが行われ、多くの園児らが参加しました。

さらに、本学のギャラリー＜space　B＞で開催した、芸術学部客員教授でイラストレーターの佐藤邦雄先生の展覧会「イラストレーター佐藤邦雄展　動物美術館」にも、多くの方々にご来場いただき、動物をモチーフとしたイラストやオブジェを楽しんで鑑賞されていました。

写生会の参加者からのアンケートでは、「多くの動物とふれ合うことができて楽しかった」「写生だけでなくたくさん遊べた」「来年もぜひ開催してほしい」といった声を多くいただきました。

今回の写生会には、芸術学部の「ボランティア・スタディ１・２」を受講する48名の学生のほか、短期大学児童教育学科の学生23名、高等学校幼児教育コースの生徒34名が、スタッフとして運営サポートに取り組み、来場者の対応や子どもたちのサポートなど、それぞれの役割を通して地域の方々とふれ合うことで、新たな自己を発見する機会となりました。

教育研究支援センター
副センター長　門脇　英純

スクールバス運行開始！

大阪成蹊学園は、学生・生徒の相川キャンパスへの通学の利便性を向上するため、平成24年４月より新たにスクールバスの運行を始めました。スクールバスは現在２台あり、ＪＲ吹田駅～阪急相川駅間、および地下鉄井高野駅～相川キャンパス間を運行しています。

このスクールバスは元々、大阪成蹊大学芸術学部が長岡京キャンパスで使用していたものでしたが、新たにリニューアルし、相川キャンパスにやって来ました。運行を開始する以前はＪＲ吹田駅～相川キャンパス間が徒歩でおよそ20分、また地下鉄井高野駅～相川キャンパス間が徒歩でおよそ10分と、特に雨の日や夏の暑い日には歩いて通うのには少々大変な距離でした。スクールバスによって本学への所要時間がＪＲ吹田駅～阪急相川駅間がおよそ７分、地下鉄井高野駅～相川キャンパス間がおよそ５分と短縮されました。またオープンキャンパスの当日も運行しており、オープンキャンパスに来てくださる高校生・保護者の皆様にもご利用いただいております。

スクールバス時刻表

JR吹田駅 ↔ 阪急相川駅

JR吹田駅発					阪急相川駅発				
7時		20	40		7時		30	50	
8時	0	20	40		8時	10	30	50	
9時	0				9時				
10時	10	30			10時	0	20		50
11時	0	20			11時	10			
12時		30		50	12時		20	40	
13時	10				13時	0			
14時		30		50	14時		20	40	
15時	10			50	15時	0		40	
16時	10	30		50	16時	0	20	40	
17時	10	30		50	17時	0	20	40	
18時	10	30			18時	0	20		

地下鉄井高野駅 ↔ 大学・短期大学・高等学校

地下鉄井高野駅発					大学・短期大学・高等学校発				
7時		20	35	50	7時			30	45
8時	5	20	35	50	8時	0	15	30	45
9時	5				9時	0			
10時	15	30			10時		10	25	
11時		20		50	11時		15		45
12時	5	20	35	50	12時	0	15	30	45
13時	5				13時	0			
14時		20		50	14時		15		45
15時		20		50	15時		15		45
16時	5	20	35	50	16時	0	15	30	45
17時	5	20	35	50	17時	0	15	30	45
18時	5		35		18時	0		30	

メニュー充実　★ラウンジオープン★

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学は、芸術学部の相川キャンパスへの移転や募集好調による新入生数の増加に伴って、４月９日（月）、図書館棟の３階に新たに食堂ラウンジをオープンしました。座席数は252席で、営業時間も10時から17時までと１階の食堂「ラ・サンティエ」よりも長く、学生たちの憩いの場となっています。

新しい食堂ラウンジの自慢の一つはメニューの充実ぶりです。たとえばカフェメニューにはブレンドコーヒー、カフェアメリカーナ、カフェラテ、カプチーノ、キャラメルラテなど、コーヒー系のメニューだけでもたくさんの種類があります。そのほかデザートも充実しており、チョコレートサンデーやストロベリーパフェ、また日替わりのパフェなどがあり、学生たちに人気です。

またフード系メニューにも力を注いでおり、パンは全国に200店舗を構える「ヴィド・フランス」の生地を使ってその場で焼いています。ほかにも定番のミートソースやナポリタンのパスタに加えて、オリーブと完熟トマトのアラビアータや３種のチーズのカルボナーラといった日替わりパスタや、オムライスのメニューも充実しています。

オープン以来大盛況で、学生たちからは「メニューが豊富でおいしいので、毎日来ています」、「きれいでゆったりしているのでくつろぐことができてお気に入りです」と非常に好評です。ギャラリーとしても使われており、芸術学部学生の作品展示も行っています。

Topics

大阪成蹊女子高等学校

入学者数　大阪の女子校で堂々1位

2012年の春、大阪成蹊女子高等学校には513名の新入生が入学してきてくれました。2007年は174名でしたので、５年で約３倍に増えたことになります。513名という数字は、大阪の女子校25校の中で堂々の第１位です。そして共学校を含む92校の中でも第13位という輝かしい結果です。

2011年から私立高等学校等授業料支援補助金（大阪府）の制度が拡大することになり、大阪の私立高校に追い風が吹いたのは事実です。しかし、無償化拡大制度前と今とを比較した場合に、私学全体の入学者数は1.16倍にしか増えていませんが、大阪成蹊女子高等学校は1.74倍に増加しています。大阪成蹊女子高等学校の人気がいかに高いかがよくわかります。

「なぜ大阪成蹊女子高等学校は、そんなに増えたのですか？」と各方面から聞かれることが多々あるのですが、その時は「世間の私立高校が男女共学化していく中、あえて女子教育にこだわり、『将来の幸せ』に向かって高校教職員が一致団結して生徒の指導にあたっているその校風が在校生を通じて評判となって広がったからです」と答えています。

私が実際にその事実を実感するのは、生徒の制服の着方を見るときです。冬服をブレザータイプに変更して３年になります。３月までは冬セーラーの学年がいましたが、今年の４月からは全学年がブレザータイプの冬服にそろいました。約1250名の女子生徒が同じ冬服を着て登校してくる姿は圧巻ともいえます。そしてその多くの生徒が制服をきっちりと着ています。この状態は、言葉ではとても書ききれないほど素晴らしく、大いに評価されるべきことであると思います。ブレザータイプはセーラー服に比べて着崩しやすいともいわれており、大きな不安を抱えながらのスタートでした。しかし、高校教職員の一致団結した指導が行き渡り、かつ、制服をきっちり着る良識を持った生徒がどんどん入学してきてくれるおかげで今の状態に至っています。

また、新入生調査で大阪成蹊女子高等学校を受験校に選んだ理由を尋ねると、「オープンスクールのときの学校の雰囲気が良かった」と答える生徒がかなりたくさんいます。オープンスクールの雰囲気というのは何から作られるのでしょうか。それはやはり、日常行われている学校生活の全てから作られるのだと思います。

もちろん、まだまだ進化していかなくてはいけない部分もあるのでしょうが、現３年生のおかげで現２年生がたくさん入学し、現３年生と現２年生のおかげで１年生がたくさん入学するといううれしい循環が起こっていることは紛れもない事実です。このような明るい状況の学校では、生徒の表情もおのずと明るくなります。

私の所属する募集広報企画室では、この生徒の明るい表情を広く正確に伝えることが最大の責務だと考えています。今年も生徒の明るい表情を広報するべくがんばっていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

大阪成蹊女子高等学校
募集広報企画室
宇都宮　加代

キャリア特進コースを新設します

大阪成蹊女子高等学校は、昭和８年４月、「高等成蹊女学校」として吹田市の観音寺を仮校舎として誕生しました。女子校の共学化という全国規模で始まった流れの中、本校は女子校を貫き、建学の精神に基づいた教育を実践し、多くの優秀な卒業生を社会に送り出してきました。そんな本校が平成25年、創立80周年を迎えます。その記念事業の一つとして従来の４コースに加え、「キャリア特進コース」を新設することになりました。

大阪成蹊女子高等学校は平成19年に時代の流れと要請に応えるべく〝キャリア教育〟を軸とした高校へとフルモデルチェンジを行いました。〝キャリア教育〟とは、人との対話力を養い、実習、体験、見学を通じて職業観を高め、自身の進路を考えさせる教育です。景気や時代の変化に伴い、当時はすでに学歴と社会人力のアンバランスが社会問題となっていました。大学での中途退学率、企業での離職率が年々高まり、社会が求める要素にいわゆる〝人間力〟がクローズアップされていました。今でこそ社会的に認知されている言葉ですが、「大阪成蹊女子高等学校は〝人間力〟養成のための〝キャリア教育〟に本気で取り組みます」と言ったところで、それらの言葉は当時全く市民権を得られる状況ではありませんでした。しかし目先の生徒募集にとらわれず、長期的ビジョンに立ち、本校は現在の姿へと大きく舵を切りました。

具体的にはこの５年間、学校行事やコース行事、そしてクラブ活動をより充実させ、物事を深く考え、何事にも積極的に参加・体験する力を身につけ、さらにはコミュニケーション力やプレゼンテーション力の習得にも重きを置いてきました。これらの活動を通じて、諦めずに最後までやり遂げる強い精神力やチームワーク力を養ってきました。そして〝キャリア教育〟は、今や大阪成蹊女子高等学校の代名詞として定着し、多くの支持をいただくこととなり、志願者と入学者の増加につながってきました。

一方で受験生や保護者からは「これだけのキャリア教育の実践をしているのならば、その教育を大学受験教育にも生かしてほしい」というニーズが年々高まってきました。「社会が求めているニーズにどれだけ応えることができるか」という視点は学校には不可欠です。そしてそれはまさに相手の立場になって考え、行動するという本校の校訓〝忠恕の精神〟そのものであります。そこでこの度、「キャリア特進コース」の新設となりました。

生徒を指導する三橋先生

４つの特長

本校の「キャリア特進コース」の特長は、すでに他校に存在する特進コースとは異なる点がいくつもあります。

①放課後は２年・３年次に７時間目を週に１～２日程度設定するのみで、部活動や学校行事にも積極的に参加させる
②高校の授業（カリキュラム）で学習内容を完結させるのではなく、自学・自習の習慣を身につけさせることに重きを置き、家庭学習の成果で補っていく
③講習漬けではなく、勉強合宿（セミナーハウス）を実施するなど、長期休暇を利用した様々な取り組みを行い、学習効果を上げる工夫をする
④キャリア教育として、大手企業とのコラボ企画やプレゼンテーション指導を行い、さらには真のグローバル化を目的とした海外研修旅行を実施する

さらには36年間北野高校で教べんをとられた三橋賢市先生に、この春からコース主任（予定）として着任していただいております。長年三橋先生が北野高校で培われてこられた北野イズムと、公的機関からも高く評価していただいている本校の〝キャリア教育〟が一つになった時、これまでに類の無かった化学反応が起こることが期待されています。

７月には本校教員が研修として３日間かけて北野高校の授業見学に行くことになっています。現状に満足することなく、大阪成蹊女子高等学校はこれからも前進し続けます。

大阪成蹊女子高等学校
副校長　六室匡司

Topics

大阪成蹊大学　マネジメント学部

学部のテーマは 人間力

大阪成蹊大学マネジメント学部では、真に企業や社会が求める「人間力」を育てることを目標にしています。自立した一人の人間として力強く生きていくために必要な「態度」「行動」「能力」を実践や体験を通じて養うことを基本方針としています。

この人間力をもった人とは

①強い身体と柔軟な心を持ち、生命力豊かな人

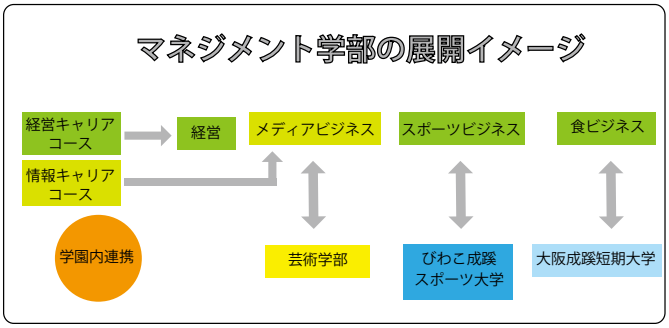
②読む、書く、聴く、話す、計算するなどの基礎的な能力を持つ人

③人と円満に接し、主体的にコミュニケーションがとれる人

④劣悪な環境であってもそれを克服し、目標にむかって挑戦する人です。

上記の人材育成目標のもと学生の興味や関心、自己啓発や資格取得の動機、そして将来の希望進路や職業に応じて、従来の産業やビジネスのみならず、多方面のビジネス領域でも、さまざまな学びのコースを展開し、充実させています。

学びの展開に際しては、大阪成蹊学園のびわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学および芸術学部と連携をして、人材やノウハウの支援を得て進めています。



1 食ビジネスコース・スポーツビジネスコースの開設

マネジメント学部では、従来の経営キャリアコースや情報キャリアコースの他、スポーツビジネスや食ビジネスのビジネス領域でも、マネジメント能力を活かし、活躍できる人材を育てることを目標に、新たに２つのコースを平成24年４月に開設しました。

（１）人材育成の方針

スポーツビジネスコースでは、スポーツを通して体と心をつくり、スポーツをマネジメントの視点から学びます。スポーツ関連メーカー、スポーツ関連流通業、スポーツサービス業などのさまざまな分野で、人の心をつかみ、人と協力しながら、大局的視野にたって健康、愛情、経済の釣り合いの取れた社会をマネジメントできる次世代リーダーを養成します。

イベント企画、運営やマーケティングなどを学び、

スポーツエクササイズ

スポーツをサービスとしてとらえ、スポーツ業界で活躍するのみならず、一般企業など多様な分野でも活躍できる人材をめざします。

食ビジネスコースでは、食をビジネスの視点からとらえる力を養います。外食・中食産業や食品流通業、食品メーカーなどの食関連産業のさまざまな分野で、マネジメント力を発揮し活躍できる食の総合プロデューサーをめざします。カフェ・レストランなどのショップ店長として腕を振るえる人材、自ら食べ物関係のお店やビジネスを立ち上げ、経営する上で必要な知見と能力を備えた人材の育成をめざします。

（２）人材育成の方法

スポーツビジネスコース

スポーツビジネスコースでは、以下の学びで人材を育成します。

１．充実した学びの支援体制

スポーツ＆カルチャーセンターで、スポーツのクラブ活動を支援します。世界に通用するスポーツの担い手を育成します。

２．社会に役立つスポーツを学ぶ

社交としてのスポーツを四季や自然と親しみながら学び、スポーツマンシップ、公共性、社会性を身につけます。

３．スポーツ大会や見本市での運営体験や企画提案

スポーツイベントの調査やインターンシップにより、さまざまな人と協力して運営を学びます。

４．スポーツを通じて、人間力を養う

人生の目標を持ち、リーダーとしての考え方を身につけ、運動・栄養・休養の大切さを学び、忍耐力と精神力をつくります。

調理学実習

食ビジネスコース

食ビジネスコースでは以下の学びで人材を育成します。

１．資格取得を支援します

①フードアナリスト：食材・食品・飲食店の分析・評価ができます。

②フードコーディネーター：出店・食材・メニューの企画・演出ができます。

２．食の生産地や現場における体験学習

生産地（農場、牧場）における体験や実習や外食・中食産業、スーパーマーケットにおける調査研究などを行い、体験を通じて学びます。

３．食の評価と発信

飲食店情報、食材、食品、飲料等「食」を取り巻く情報を読み解き、評価し、食の情報を発信し、提案の仕方を学びます。

４．食の店舗経営

事例調査を通じて、出店・食材・ヒット商品などのメニューの企画・演出を実践形式で学びます。

2 平成25年度から、情報キャリアコースをメディアビジネスコースへ改組

新聞は電子新聞、本は電子書籍、音楽や映画までスマートフォンなどのパーソナルメディアで、好きな時に好きな場所で愉しむ時代になりました。写真はフィルムのないデジタルカメラとなり、好きなだけ撮ることができます。新しいデジタルメディアの登場です。そこで、今や企業や社会からメディアを知り、音楽や映画のコンテンツを愉しみ活用する新しいメディアビジネスの企画・立案・開発ができる人材が求められ、その育成が急務となってきています。

平成25年４月から「情報キャリアコース」を「メディアビジネスコース」に名称変更して、次世代のメディアビジネス時代に活躍できる人材育成をめざします。

（１）人材育成の方針

メディアビジネスコースでは、スマートフォンなど新しいメディアをビジネスで活用できる人材の育成をめざします。音楽コンテンツや映像メディアを効果的に活用し、メディア戦略・戦術を実行する能力を備え、「人」「社会」「情報」を活かした、豊かで、潤いのある社会を創造できる人材を育てます。

（２）人材育成の方法

メディアビジネスコースでは、以下の学びで人材を育成します。

１．最新の事例からメディアビジネスの最先端に触れる

スマートフォンなどパーソナルメディアやネット配信サービスなどの事例からメディアのビジネス活用を体験的に学びます。

２．多様な演習を通じてメディアコンテンツの活用を学ぶ

映像・音楽のコンテンツ編集や活用によるビジネスにおけるプレゼンテーションや広告などのメディアマネジメントを学びます。

３．事例や体験を通じて企業のメディア戦略を学ぶ

さまざまなメディアの活用演習や課題解決型ゼミナールを通じて、営業活動の効果的なプロモーションや業務を可視化（見える化）して効果的に推進するなど顧客や従業員にコミュニケーションできる能力を養います。

４．疑似体験を通じてメディアを活用した新しいビジネスモデルを提案できる

ゼミナールや起業家実践演習で、ネット上でビジネスに結びつけるためのビジネスモデルの企画提案を学びます。

Topics

びわこ成蹊スポーツ大　大学院開設

……1年生の声……

びわこ成蹊スポーツ大学では、この４月より大学院が開設され、１年生として11人が入学し毎日勉強に励んでいます。彼らがこの間大学院で勉強してきて、どのような思いを持っているのか聞いてみました。

「大学院でスポーツを学ぶ」

スポーツをすること、かかわることを選び、続けてきた私は、スポーツは素晴らしいものだと思い込んでいました。しかし、スポーツの中で起こっている不祥事や問題に目を向けると、本当にスポーツは価値の高いものであるのかという疑問が生まれます。けれども、やはりスポーツは素晴らしいのです。そのことを、大学院の毎日の中で一つひとつかみしめます。だから、より多くの人の中でスポーツというものが価値あるものであるべきだし、価値が高いとされるスポーツの中に実在する問題を取り除く努力は惜しみなくされるべきだと感じます。それを立証できるスポーツ人の一人になれるように、大学院で勉学に励むつもりです。

岩見彩生

「大学院について」

大学院の講義を受け、今まで私はスポーツの「する」ということにしか目を向けていないことがよくわかりました。大学院の講義では、自身の専門のことや専門以外の他にスポーツ文化の意味やスポーツが抱える問題、倫理など今まで以上に学ぶことができ、スポーツをさらに面白く感じています。

私は、大学院は行動の質と責任とが求められる場所と考えています。以前に「学ばざる者教えるべからず」という言葉を頂いたことがあり、入学してまだ２か月目ですが、院生の仲間と知識を深め、知恵をつけていきたいと思います。

江見亮輔

「未知の世界」

2012年春、「びわこ成蹊スポーツ大学大学院」が創設され、その第１期生として私は通い始めました。「大学院の生活」とは一体どういうものなのか、私は知りません。

実際の大学院の授業はこれまでに無いほどの充実感で、学部生の時には感じることができなかった自主性を持つことへの意欲を駆り立て、充実感を得ています。

しかし、この感覚は自然に現れるものではありません。どれだけアンテナを張り、吸収しようとするかでこの大学院の生活は変わってきます。全ては自分の意欲に委ねられているのです。これこそが自主性です。

「びわこ成蹊スポーツ大学大学院」

私はこの新しい未知の世界に立っています。まさに、この「前例の無い空間」これが未知の「私」を創造しています。

九嶋裕子

「大学院と私」

大学院に入学した今の自分の心境としては不安が大部分を占めています。具体的な将来の目標が見つからない自分、日々の生活で浮き彫りになってくる未熟さ、自分が今までいかに狭い世界しか見て来なかったのかを痛感しています。正直に本当に自分は何がしたいのかが分からない状態です。しかし、そうした意味ではこの２年間という時間は自分にとって大きな意味を持つのではないかと思います。常に感じている不安と闘いながら、自分なりのペースで良いから自分のやりたいことを見つけようと毎日を過ごしています。

冨永哲志

「目標のために」

私は、女子スポーツ界に貢献をしたいと思い大学院に入学しました。大学院の授業は論文を読みながらのディスカッション形式が多く、学部に比べスポーツをより深く学ぶことができます。まだまだ知識の詰め込みばかりで大変ですが、とても充実した学生生活を送っています。１年次では、修士論文に向けて知恵を知識に変える練習をしつつ、目標であるプロの格闘家になることを目指しこれからも頑張っていきたいです。

藤川　優

Information

イベント・コンテストのお知らせ

■大阪成蹊大学芸術学部

「大阪成蹊アート＆デザインコンペティション　～未来への発信～」

募集期間：８／１(水)～９／30（日）
対象：近畿圏内、及び本学が指定する美術系専門学校などの高校生、近畿圏内の中学生
詳細：ＨＰ（URL　http://univ.osaka-seikei.ac.jp/univ_art／）

教育支援人材プログラム「こどもパートナー」認証講座

７／15（日）、８／19（日）
９／２（日）
時間：10：00～15：10＊受講料無料
会場：南館
対象：地域で子どもたちの教育を支援する活動を始めてみたい、そのような取り組みに関心をお持ちの方々（行政・学校関係者、子ども関連企業、地域住民、学生など）
問い合わせ：06-6829-2630

「こども未来学校」

芸術学部学生が、子どもたちのために楽しい講座を企画します。
開講日：７／21（土）
対象：小学生
詳細：ＨＰ（ＵＲＬ　http://univ.osaka-seikei.ac.jp）

■大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学　教育研究支援センター

七宝焼講習会

７／18（水）、９／19（水）
10／17（水）、11／21（水）
１／16（水）、２／20（水）
場所：東淀川区民会館
昼の部　14：00～16：00
夜の部　18：00～20：00
★各回20名（先着申し込み順）
★申し込み先：06-6829-2630
参加費：700円
（別途材料費400円から）

「黒田潔の仕事　zine制作　-inside and　outside-」

７／23（月）～８／５（日）　会期中無休
12：00～18：30（土・日曜日は17：00まで）＊入場無料
会場：南館　ギャラリー<space　B>
関連企画：７／29（日）「情報デザイン特講」
公開授業　11：00～12：00
＊入場無料／申し込み不要
会場：南館

■びわこ成蹊スポーツ大学

公開講座「スケートにおけるコーチング」

開講日：７／11（水）
15：00～16：20
場　所：びわこ成蹊スポーツ大学　大講義室
詳細：びわこ大ＨＰ(URL　http://www.bss.ac.jp/centre/kouzanews/0711.html)

★開催中の公開講座（受付終了）

・びわスポ全力疾走に挑戦2012（６／16～10／６　びわこ成蹊スポーツ大学）
・びわスポランニング教室（６／９～12／１　びわこ成蹊スポーツ大学）
・びわスポ水中ウォーキング継続教室（４／27～８／３の毎週金曜日　びわこ成蹊スポーツ大学）
・第13回びわスポキッズフェスティバル（６／30　滋賀県立長浜ドーム）

大阪成蹊女子高等学校 オープンスクール日程

●第１回目●
８／18（土）開始時間10：00～

●第２回目以降●
９／29（土）・10／６（土）
10／20（土）・11／10（土）
11／17（土）・12／８（土）
12／15（土）・12／22（土）
いずれも開始時間13：30～

オープンキャンパス日程

大阪成蹊大学 大阪成蹊短期大学

10：00～15：00【受付開始９：30～】

☆STEP ２☆大阪成蹊の入試を知ろう
７／15（日）・７／29（日）

☆STEP ３☆大阪成蹊に決める！
８／５（日）・８／19（日）
８／26（日）・９／２（日）

【入試チャレンジオープンキャンパス】
９／30（日）・12／22（土）

びわこ成蹊スポーツ大学

10：00～15：00【受付開始９：30～】

●第１回目●　６／16（土）
●第２回目●　７／21（土）
●第３回目●　７／28（土）
●第４回目●　８／25（土）
●第５回目●　９／15（土）
●第６回目●　12／15（土）